

城南家保ニュースR4.2月

熊本県城南家畜保健衛生所
〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1
TEL : 0966-22-3814 FAX : 0966-22-3617
EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

立春とはいいながらも、寒気きびしいおりですが、三寒四温の季節も、もうそろそろです。
2月はまだまだ寒く、日内寒暖差が大きい日もあり、コロナ禍でもあります。
皆様におかれましては、体調に気を付けてお過ごし下さい。

牛呼吸器病症候群（BRDC）について

牛呼吸器病症候群(BRDC; Bovine Respiratory Disease Complex)は、環境要因となる寒暖の変化のほか、離乳や移動及び群編成、過密状態での飼育や換気不足等の強いストレスがかかり、免疫力が低下した牛がウイルスや細菌、マイコプラズマなどに複合感染し、症状が重篤化する呼吸器疾患です。

各種抗生剤による治療にもかかわらず死亡するなど、生産性低下の原因にもなり、経済的な損失が極めて大きい病気の一つとなっています。

【BRDC 発症のメカニズム】

① ストレス(離乳、移動、寒暖差、過密飼育など)環境下で、牛の免疫力が低下。

② ウイルス(IBR、RS、PI など)感染で、粘膜が損傷し、気道の感染防御機能が低下。

③ 気道・鼻腔に常在する細菌等(パステラ、マンヘミア、マイコプラズマなど)が肺に定着・増殖。

④ 肺炎、肺組織の損傷・炎症。

肺組織は他の臓器と違い、損傷を受け細胞が一旦破壊されれば、再生することができません。

⑤ 肺での呼吸機能が落ち、ガス交換ができず生産性は低下する。

BRDC の発症

飼養環境が悪いなかで、ウイルスと細菌が複合的に感染し肺炎を起こした牛は、ガス交換不可能による死亡または、治癒したと思えても増体率低下が顕著になります。

BRDC を発症した牛は、その後も各種疾病に罹り易くなり予後不良となるばかりでなく、牛群にまん延、生産性低下の根源にもなります。

BRDCを**予防**しましょう！

予防対策

① 飼養環境の改善

- ・ 牛舎の清掃、消毒 ・飼養密度 ・換気 ・各種ストレスの緩和など

② 牛の免疫力強化

- ・ 適正な初乳の給与 ・ワクチン接種※ ・生菌剤、ビタミン剤の投与など

③ 病原体の侵入防止

- ・ 飼養衛生管理基準の遵守徹底(外部からの立ち入り制限、消毒槽の準備、手指の消毒や牛舎専用の衣服、靴などに着替えるなど徹底して行う。)など

※農場によっては、飼養規模や衛生管理の状況、感染症の種類が異なるため、どのワクチン(ウイルス性・細菌性)をいつ、どのくらいの間隔で何回接種すればいいのか、獣医師に相談し、農場が置かれている状況に応じたワクチン接種プログラムを作成しましょう。

※ワクチン接種プログラムの一例(発症時期で投与が異なるので獣医師へ相談が必要です。)

ワクチン名	効果	接種方法例
・牛6種混合ワクチン	IBR(牛伝染性鼻気管炎)、PI-3(牛パラインフルエンザ3型)、牛RSウイルス感染症、牛アデノウイルス感染症(7型)、牛ウイルス性下痢-粘膜病(1型、2型)	<p>母牛 ①種付け1~2カ月前 ②分娩1~3カ月前</p> <p>子牛 ①生後約1カ月 ②4~5カ月齢</p>
・マンヘミア不活化ワクチン	細菌:マンヘミア・ヘモリチカ(1型)	子牛:生後1カ月で1回接種

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)	H5N1	韓国(10件)	家さん(産卵鶏、種アヒル、肉用アヒル)	令和3年12月23日~令和4年1月26日
		韓国(3件)	野鳥	令和3年12月6日、12月22日
		香港	家さん	令和3年12月16日
	H5N2	台湾(4件)	家さん	令和4年1月13日
アフリカ豚熱(ASF)		韓国	野生イノシシ	令和3年12月30日
		ロシア	豚	令和4年1月12日
口蹄疫(FMD)	O型	中国	ヤク	令和3年10月27日

令和4年(2022年)2月1日現在